

女子美術大学ニケの会 会報

2010.2 創刊号



CONTENTS

- 2 挨拶
- 3 総会
- 4 女子美祭
- 5 先生レポート
- 6 キャンパスレポート
- 7 キャンパスギャラリー
- 8 インフォメーション・講演会

当会の名称である「ニケ」は、詳しくは「サモトラケのニケ」といいます。また勝利の女神とも呼ばれています。1863年にエーゲ海のサモトラケ島で発見され、現在はフランスのルーブル美術館に所蔵されて、「ミロのヴィーナス」とともに、ルーブルの至宝の双璧といわれているようです。

高さは3m20cm。優美で躍動的に翼を広げている女性の彫像です。このレプリカ石膏像が約50年前から女子美術大学 杉並校舎2号館の中庭に設置されています。このため、この中庭はニケ像への親しみを込めて「ニケ広場」と呼ばれています。

「ニケ」の像・名称は女子美のシンボルとしてデザインされ、バッジや印刷物に使われています。また女子美所有のギャラリーも「ガレリア・ニケ」と呼ばれています。

このたび、当会の発足にあたり、大学よりこの「ニケ」の名を、会の名称としていただきました。

ニケの会設立によせて

学校法人 女子美術大学 理事長 大村 智

女子美術大学ニケの会の発足、心よりお祝いを申し上げます。また、平素より本学運営につきましては、格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

女子美術大学は、平成22年10月に創立110周年を迎える歴史と伝統のある美術大学であります。明治33(1900)年、女性に門戸を開く美術の専門教育機関がほとんどなかった時代に、創立者横井玉子、佐藤志津らの先進的な思想により、「芸術による女性の自立」、「女性の社会的地位の向上」、「専門の技術家・美術教師の養成」を建学の精神として開学しました。

この間、本学の先輩諸氏は経済不況や戦争などのさまざまな時代背景を担って、火災による校舎焼失や経営難に遭遇しながらも、篤志家の方々や当時の保護者の皆様を中心とした後援会活動等に支えられながら建学の精神に則り美術教育を続け、今日まで数多くの著名な人材を世に送り出してきました。

さて、このたび、学生生活の向上と大学の発展、並びに会員相互親睦と教養を深める目的で、ニケの会が発足されたことに誠にご同慶の至りでございます。本学にとり大変有難く、また心強く思っております。法人を代表いたしまして、深く感謝申し上げます。

平成22年4月より、芸術学部は7学科の教育組織を美術学科、デザイン・工芸学科、アート・デザイン表現学科の3学科に改組し、既設7学科の在学生の教育と合わせて一層の教育の充実を図ります。同時に、短期大学部につきましても新たなカリキュラムを編成し特色ある教育体制とその充実をめざします。

この改組に合わせて、これまで芸術学部は相模原キャンパスで教育を行っていましたが、アート・デザイン表現学科を短期大学部、附属高等学校・中学校と同じ杉並キャンパスに開設することで、現在、両キャンパスの整備事業を鋭意進めているところでございます。

女子美は将来に向かって、たゆまぬ歩みを続けてまいります。ニケの会の皆様におかれましては、倍旧のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



ニケの会設立によせて

女子美術大学・女子美術大学短期大学部 学長 佐野 めい

このたび、「ニケの会」が発足致しましたことを、心よりお喜び申し上げます。

「ニケの会」の皆様方には、会員相互の親睦と連携を深めながら、女子美術大学発展のためにご尽力をいただくというご趣旨をうかがい、まことに有難く厚く御礼申し上げます。

2010年4月より、女子美術大学芸術学部・短期大学部は、これまでの教育組織を変えて、新しくスタート致します。現代の社会に対応し、女子美力で、芸術を広げてまいります。そして優れた美術大学づくりに取り組んでまいります。

「ニケの会」のこれからのご活躍を期待し、ご発展をお祈り申し上げます。



会長挨拶

ニケの会 会長 鈴木 靖則

女子美術大学ニケの会の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

私は、去る平成21年10月25日(日)に相模原校舎で開催されました、女子美術大学ニケの会設立総会におきまして、初代会長就任のご承認を戴きました鈴木靖則と申します。微力ではございますが、平成21年度の残りの数ヶ月、この大任を努めさせて戴きたいと思っております。

総会であわせてご承認戴いた会則にもございますように、女子美術大学発展の援助と会員様相互の親睦を図りたいと考えております。その一つに、大学側と保護者の橋渡しになることが重要と考えておりますので、皆様の忌憚のないご意見を是非ともお寄せくださるようお願いいたします。

今年は女子美術大学創立110周年記念の年でもあり、10月の創立記念日に相前後して、さまざまな記念イベントが開催されると聞いております。この記念行事等にニケの会として可能な限りご協力をさせて盛り上げにお手伝いしたいと考えております。

また、遠隔地にお住まいの方には、2月に専用ホームページを立ち上げ、大学の行事や学生生活の様子、就職など、保護者の皆様の関心事についてご意見をいただきながら、情報発信に努めます。

ニケの会は会員皆様の参加とご協力で運営してまいります。現在その基盤作りに役員スタッフ一同、努力しておりますので、会員の皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



女子美術大学ニケの会(父母会)の発足について

ニケの会 設立総会

平成21年10月25日(日)14:00~15:00 女子美術大学相模原校舎1号館第2会議室

平成21年10月25日(日・女子美祭)に相模原校舎第2会議室において女子美術大学ニケの会の設立総会が開催されました。ニケの会は、「学生の父母が中心となり、大学と協力して学生生活の向上を図り、大学の発展に寄与し、会員及び学生相互の親睦と教養を深めること」を目的としています。230件の入会申込みがあり、総会には40名近い出席がありました。総会では鈴木靖則新会長をはじめとする本部役員・会計監査の選出、会則・平成21年度活動計画案等すべての議案が承認され、大学を代表して大村理事長の挨拶がありました。引続き、教職員食堂にて懇親会が開催され、多数の教員も参加し、ご父母と歓談、親睦を深めました。また、女子美祭では両校地にニケの会専用テントで参加し、やきそばやコーヒーなど販売は好評でお祭りに彩りをそえました。



左から、鈴木靖則会長、中村隆志副会長、吉田千代副会長

懇親会出席者の声

総会後に行われた懇親会でしたが、出席して良いものなのか?と患っていたら、隣り合わせたご父母に声を掛けていただき参加しました。

会場は思いの外、多くのご父母で賑やかに和やかに始まり、各学科の先生もご挨拶に来て頂き、直接ご挨拶することも出来ました。`子どもが大学生になってまで`と思う反面、親としての心配や不安を持っていた私は、色々な学科のご父母や同じ学科のご父母とお話しする事で、共感したり、安心したり、励まして頂いたりと有意義な時間を持つ事が出来ました。また、子どもの学科の先生ともお話しする事が出来、先生の学生への愛情あふれる思いや熱意をお聞きして、この学校を選んだ事に間違いはなかったと確信しました。自宅に帰っても、先生とお話した事、ご父母のお話しなど、子どもとの会話も弾みました。

このような機会を立ち上げてくださったニケの会の皆さんに感謝申し上げます。



女子美祭レポート

ニケの会広報活動の一環として、相模原キャンパス、24日(土)と25日(日)午前中に茶店を、杉並キャンパスでは24日に焼きそばとフランクフルトのお店を開き、会員募集活動を行いました。

杉並キャンパス

女子美祭の開催中24日のみ、ニケの会を皆様にご案内いただくために杉並キャンパスでは焼きそばとフランクフルトの模擬店を出し、ニケの会会員募集のビラを配りました。前日までの準備は鈴木靖則会長以下あわただしく進み、当日は10時前から会長自ら手慣れた様子で焼きそばを焼き始めました。

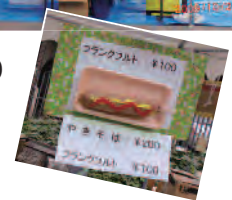
フランクフルトは湯煎後に焼きを入れるなど、昼時の混雑を想定してあらかじめ段取りしていたのですが、予想を超えた集客で長蛇の列になりました。

焼きそばに至っては予約受付後に品物をお渡しするような状態でした。焼きそば350食、フランクフルト400本は早々に完売いたしました。

一日のみでしたが短大の学生をはじめ、付属校の生徒、地域の方、ご父母の方など多

くの方に利用していただき「ニケの会」の誕生を皆様にご案内いただき第一歩としてはまずまずのスタートであったと思います。

来年度以降は大学の体制が変わり、杉並キャンパスに大学の一部と短大が揃いますので、更なるニケの会会員交流の場として大きく前進していけるのでは、と楽しみにしております。



相模原キャンパス

みなさんにニケの会を知って頂く目的で、10月24・25日 女子美祭に出店させて頂きました。

学生達はお店や衣装に工夫を凝らし、美味しく、安く、若いパワーで楽しそうにタコ焼き等いろいろ販売していました。ニケの会はドリップしたての、美味しいコーヒーやドーナツ等、笑顔で販売しました。ニケの会のお店は親子や保護者、学生もお手伝いしてくれて、本当に助かりました。1番奥のニケの会に来て頂く為、入口でお楽しみ抽選券を渡し、三角くじを行いました。女子美グッズやお菓子等400個は好評でした。

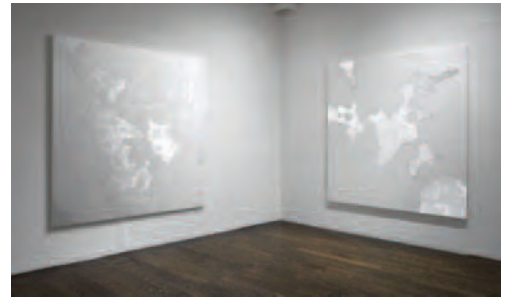
沢山のお客様に言われたのが、そういえばニケの会の手紙が来ていたけど何かしら…、説明を聞いた後 その場で入会して頂けたり、帰ってからもう一度見てみる等言って頂きました。嬉しかったのは、「頑張ってください」「ありがとうございます」等とても優しい言葉をかけて貰ったことでした。

1番良かったのは、ニケの会はテーブルやイスもあり休憩しながら、校内の道案内等 気楽に保護者がいられるスペースになった事です。

私自身 娘が大学生になったら親は出る事はないと思っていました。しかしニケの会は、学校と協力して娘達の役に立つだけで無く、保護者達も楽しめて、就職や一人暮らし等、みんなの情報交換の場所だと思いました。

来年は皆さんと楽しみたいと思います。





大森 悟

OMORI Satoru

芸術学部 絵画学科 洋画専攻 准教授

12月某日、世田谷美術館にて開催されていた、女子美大学院大森ゼミによる「森展」におじゃまし、大森先生にインタビューさせていただきました。

—早速ですが、先生は芸大のご出身ですが、大学4年間の後、大学院に進もうと決めた理由は……

大森先生(以下O)：何かを表現していく時に、4年生位になると自分でやりたいことが出てくるんですね。美術の表現の中で、今まで教わる立場だったのが、徐々に4年生位でグループ展なり個展なり開き、自分から自発的に見えるようになっていきます。そうすると教養というか知識として何が足りないかが出てくるわけで、もう少し自分のやっている事を固めて伸ばしたいと思うと大学院となるんですね。

—作品づくりとは……

O：たぶん僕らものを作る人って、誰かに接する事を求める事で、エネルギーを貰うというより、自分で作らなきゃいけないんですね。だから火を熾すって感じで、自分の中で何か摩擦を作るんです。物事でも人でもいいから、あえて摩擦を作って、その摩擦の熱をグ〜ってためてポッ！と発火させるという事です。美術の世界で表現する人は、それが求められるんですね。

—最近の女子美生をどう思いますか？

O：女子美ってたぶん物事に対してミーハーなんだと思うんです。それは非常に「良さ」なんですけど、流行を知ろうと

か、それに近づこうという努力とか熱意が減ってきてしまって、自分が築けない学生が多いように見えますね。

—成績をつける時に学生の顔は浮かびますか？

O：浮かびます。だんだん作品と学生の顔が一致

するようになってきてそのデータが溜まってきます。大学全体としても、個人の4年間で何をしたかというアーカイブを作る方向に動いています。

—女子美生の就職について伝えたいことは……

O：自分の作品を作る時に、画材などを買うことで、メーカーとのやりとりがあったり、施設運用を覚える機会があったり、宣伝、広報も自分でやっている。自然に市場調査をしているので、一般の大学生より遥かに就職に有利なはずなのですが、気付いていない。1年生の時から自分の作品のプレゼンテーションをやっているのだから、実践的なわけで、実は就職活動に直結しているんです。そこに自覚があれば、そんなに就活で心配はないと思うんですけどね。

—本日はありがとうございました。これからもニケの会は、女子美大学、女子美生を応援していきます。

O：僕もニケの会を応援しています。

2時間に渡り、大森先生の出身(茨城)から現在に至るまでを語っていただきました。つねに前向きで、やさしさ溢れるお人柄でした。紙面の関係上その一部をご紹介します。今後も娘達が日頃お世話になっている先生方に、ニケの会を通してインタビューしていきたいと思っております。



キャンパスレポート ～2年生Sのとある一日(相模大野編)～

朝6:00に、彼女の一日が始まる。7:40小田急線の急行に飛び乗り、町田を過ぎ、相模大野駅にて下車。さてこれからが戦争である。いかに早くバス停に並び、一般客に混じって先発のバスに乗れるか？ これによって



遅刻か否かが決まるのである。バス停に並ぶ人の列をながめつつ、あと10分早く起きればよかったと後悔の毎日である。自転車通学の猛者もいるのだが。

2年生の朝は厳しい。専攻授業が午後からだった1年時がなつかしい。1時限終了と共に、即行で2号館エントランスへ向かう。からあげ棒を食す為である。すでに列が出来ているが、なんとかGET。食べつつ再度教室へ向かう。



「教室内は食べ物持ち込み禁止よ！」との声をスルーし完食。午前の授業内に課題提出をすませ、ほっとしつつ学食へと。2号館の学食は広いとはいえ、冬期の席の確保は戦いである。学部の違う友達を待ちつつ席を見つける。

本日のメニューは、ヘルシーランチ 金目鯛の煮付け470円
A ランチ 真ほっけフライタルタルソース370円。B ランチ

ハンバーグ370円。とりからあげ丼350円。等カロリー表示付きである。若干揚げ物が多いのはダイエットの天敵か？彼女はヘルシーランチを購入。友人とテーブルを囲むランチタイムはしばしの休息である。と、窓ガラスの向こうに公園からやってきたのか、カモ2匹発見！！ 11月も終わり、木々の色は変わり、校庭を吹



く風は冷たい。乱立する華やかなツリーを横目でながめつつ(誰が飾り付けたのだろう?)午後の一般教養ゼミへ。

友人たちもそれぞれ異なる授業へと別れていく。

ゼミは、4月のはじめにと

りたい授業を選択する。独創性のある人気のクラスは、当然競争が激しい。もちろん、フェアにくじびきである。

22年度から履修登録がWebでできるようになるらしい。なんと日々進化するシステムであろうか！

長い午後も終わり、たまっていたレポートをなんとか提出し家路に着く。帰りのバス停へと長いスロープを降りていく頃にはあたりは暗闇になっていた。

軽い夕食を兼ねて、相模大野のステーションスクエア CREPRIE LA BUVETTE に立ち寄る。

ガレット(そば粉のクレープ)専門店である。

卵ののった ガレット・コンプレ 800円

クレープ・ショコラバナヌ 650円などをつつきながら

週末のプランに燃える彼女らであった。

(杉並編に続く。)



Galleryに行こう！

ご存知ですか？

女子美には相模原、銀座の2箇所に其々の目的から開設したGalleryがございます。

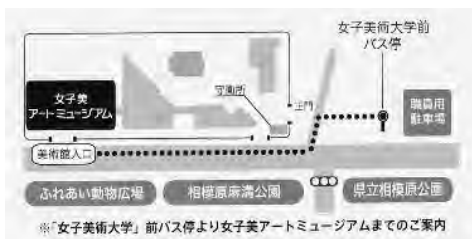
1 JAM 女子美アートミュージアム JAM

(美術館/相模原キャンパス内) Tel. 042-778-6801

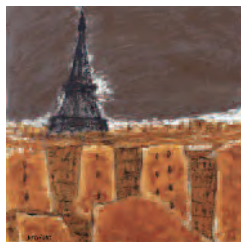
1900年(明治33年)、女性が美術を学ぶには極めて厳しかった時代に、女子美術学校(女子美術大学の前身)は現在の文京区本郷に設立。2001年、創立100周年を記念して相模原キャンパス内に「女子美アートミュージアム」を設立。このような歴史的背景から、排出した卒業生をはじめ、女子美にゆかりの深い作品を中心に、絵画、彫刻、染織、書簡など数千点にのぼる貴重な作品、資料を収蔵しています。その中にはインドネシアの絨織り(イカット)の貴重な資料なども含まれております。

また、年5~6回の企画展では学生の実践の場としても開かれ、展示作業やギャラリートーク、ワークショップなどで学生ボランティアが活躍しています。

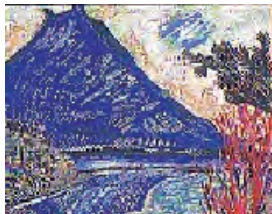
女子美の「歴史と今」を感じにいらしてみませんか？



主な所蔵作品の作家/秋山さやか、井上尚子、入江観、大久保婦久子、柿内青葉、佐野ぬい、嶋田しづ、林唯一、福沢一郎、三岸節子、三谷十糸子、柚木沙弥郎、脇阪克二 など



三岸節子 エッフェル塔

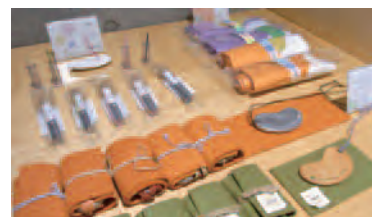


片岡珠子 風景



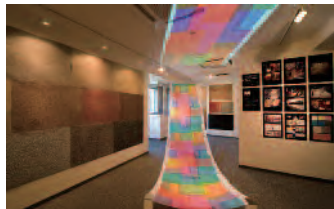
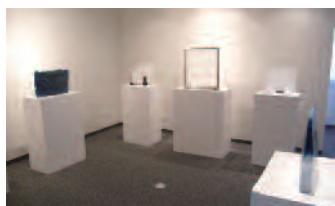
多田美波 張 Expansion

JAM 女子美アートミュージアムではファッション造形学科が制作したお香、エコバック、ウッドチャーム、アルミチャームなどのオリジナルグッズも販売いたしております。



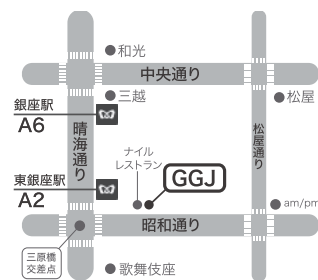
2 銀座gallery 女子美

(学外ギャラリー/東京メトロ・銀座駅徒歩1分) Tel. 03-5551-1900



一方、社会で活躍し、キャリアを積んだ卒業生の活動を中心に紹介する目的で2008年夏に開廊したギャラリー。展示販売を実施することもあり、収益は全て2010年に予定されている創立110周年事業への寄附とさせていただきます。

様々なアート活動に取り組む姿を垣間見て下さい。



講演会のご案内

林 敬二 先生 演題「画家の日常性」

日時 2010年3月13日(土) 13:30~15:00

場所 女子美術大学相模原校舎 1号館第2会議室

先生の画業を中心にお話いただきます。
事前の申し込みは不要です。ご自由にご入場ください。

【林 敬二】

1933年、神奈川県横浜市生まれ
1960年、東京藝術大学専攻科修了。
1961年、独立美術協会展独立賞受賞(67年G賞)
1964年から67年、イタリア政府給付留学生として渡伊
1996年、第19回安田火災東郷青児美術館大賞受賞
現在、独立美術協会会員、女子美術大学理事・名誉教授



就職説明会

2010年3月13日(土) 15:30~16:30

女子美術大学相模原校舎 1号館第2会議室

保護者対象に最近の就職状況、今後の展望と本学の取組みなど
について、就職担当部署であるキャリア支援センターの職員が
お話します。事前の申し込みは不要です。在学生も入場できます。

卒展のご案内

- * 大学院修了制作展(相模原校舎 女子美術ミュージアム)
3月9日(火)~3月20日(土)
- * 大学卒業制作展(相模原校舎 全域)
3月13日(土)~3月15日(月)
- * 短期大学部卒業制作展(杉並校舎 全域)
3月13日(土)~3月15日(月)

ニケの会 役員一覧

| | |
|---------|-----------|
| 会 長 | 鈴木 靖則 |
| 副 会 長 | 中村 隆志 |
| | 吉田 千代 |
| 会 計 | 湯山るり子 |
| | 木下ルミ子 |
| 庶 務 | 角田 恵子 |
| | 藤沢まゆみ |
| | 坂入紀美子 |
| | 湯山るり子(兼任) |
| 会 計 監 査 | 橋本 寿美 |
| | 須田 由美 |

発 行 女子美術大学 ニケの会
〒166-8538
東京都杉並区和田1-49-8
企画・編集 ニケの会 広報担当
制作・印刷 株式会社パワープランナー
発 行 日 2010年2月1日

女子美スタイル★最前線 JOSHIBI Degree Show 2009

大学院・大学・短期大学部、全ての学科・専攻・コースの
卒業および終了年度学生作品選抜展です。

会期：2010年2月10日(水)~2月14日(日)

11:30~19:00(入場は18:30まで)

会場：BankART Studio NYK 横浜市中区海岸通3-9

横浜みなとみらい線「馬車道駅」6出口「万国橋口」歩4分

詳細は女子美
ホームページを
ご覧ください。

ニケの会入会のご案内

「女子美術大学 ニケの会」は、女子美術大学の大学院・学部・短期大学部の在
学生のご父母(又はそれに代わる方)と大学が一致協力して、学生生活の向上を図
り、また大学の発展に寄与し、併せて会員相互の親睦と教養を深めることを目的
としています。

平成21年度後期は発足年度として、会員の皆様と共に会の地盤固めに努め、
平成22年度より、会報発行、地区別父母の集い、課外活動への補助等々の事業
を実施して参ります。在校生ご父母の皆様には、ぜひ入会をご検討いただきたく
お願い申し上げます。詳細は下記へお問い合わせください。

《女子美術大学ニケの会事務局》

学校法人女子美術大学 総務部校友室

〒166-8538 東京都杉並区和田1-49-8

電 話 03-5340-4501 FAX 03-5340-4545

メール nikenokai@venus.joshibi.jp